

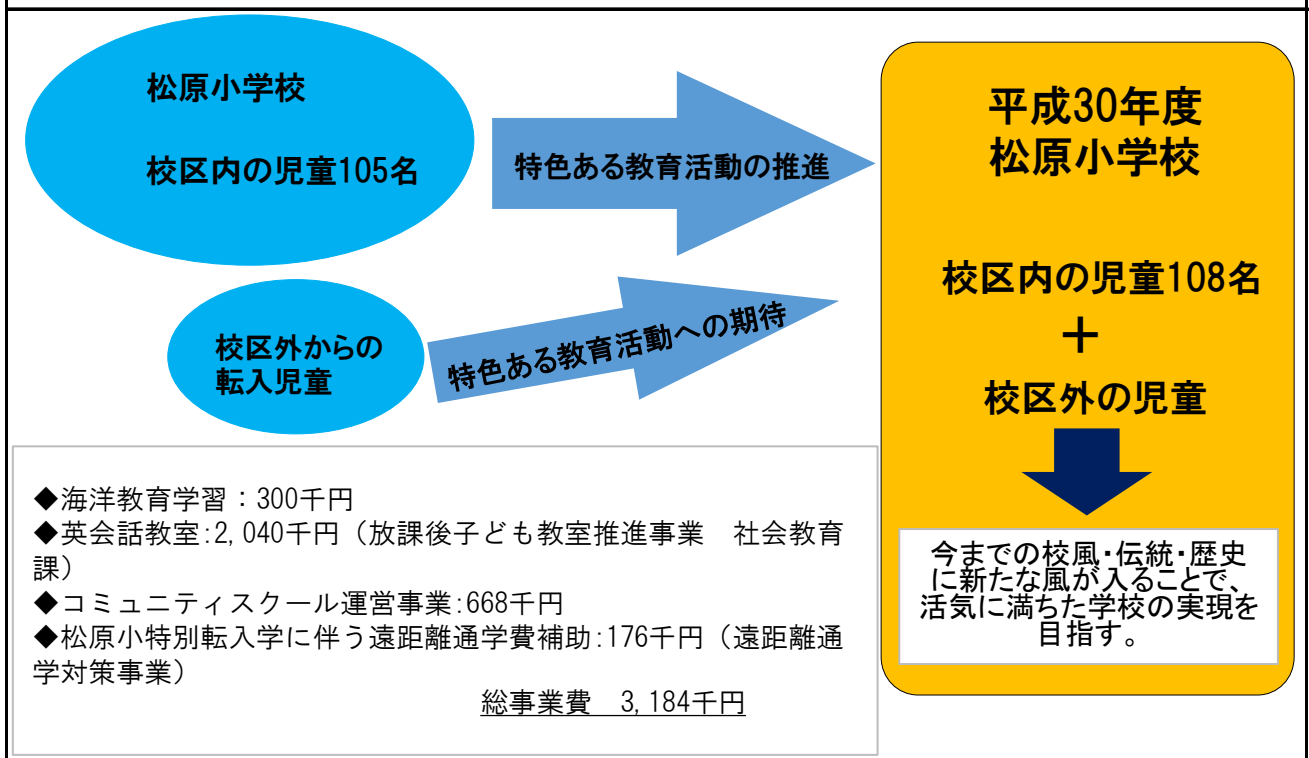
施策： 小・中学校教育の充実

《 》は、29年度の当初予算

事業名： 特色ある教育活動推進事業	新規	予算額	968 千円
			《 0 》
財源内訳		国庫支出金	千円
		県支出金	千円
		地方債	千円
		その他	968 千円
		一般財源	0 千円

**【事業の目的・概要・対象】**

- 1 目的  
特色ある教育活動を展開することで、松原小学校の児童数減少に歯止めをかけ、より一層の学校教育の充実を図る。
- 2 特色ある教育活動
  - (1) 松原地区の魅力（歴史・自然・産業）の体感  
「松原宿寺子屋塾」の活性化事業への参加や「松原刃物」「まつばらおこし」などの地場産物、地元の偉人について体験的に学ぶことで、地元松原の魅力を感じ取る。
  - (2) 市内初のコミュニティスクールの推進  
「コミュニティ・スクール推進体制構築事業」を取り入れ、学校を核とした地域力強化の仕組みづくりを推進し、地域の活性化を図る。
  - (3) 海洋教育の推進  
松原の自然を代表する「海」を題材として「総合的な学習の時間」の充実を図る。小学5年次、6年次の2年間で合計50時間の探究的な学習を通して、自己の生き方について考える力を育成する。
  - (4) 放課後「英会話教室」の推進 ☆社会教育課予算  
放課後の約1時間、週3日程度で簡単な英会話ができるような力を身に付けさせる。ALT（外国語指導助手）や英語が堪能な地域の人材を活用して実施する。



**【背景】**

松原小学校は、今後、6年間で児童数が4割減少する市内で最も児童数減少率の高い学校である。校区外からの転入生を受け入れ、児童数の減少に歯止めをかけ、活気に満ちた学校の実現は地域の願いでもある。

担当課	教育委員会学校教育課	問合せ先	0957-53-4111（内線374）
-----	------------	------	---------------------

【活動指標】

指標名		単位	H28 (実績)	H29 (目標)	H30 (目標)	H31 (目標)	H32 (目標)
①	海洋教育を取り扱った授業時数 (該当学年の合計)	目標値 時間	/	50	60	60	60
②	「英会話教室」の実施時数 (年間35週での週平均)	目標値 時間	/	/	3	3	3

【成果指標】

指標名		単位	H28 (実績)	H29 (目標)	H30 (目標)	H31 (目標)	H32 (目標)
①	教育活動に対する保護者の満足度 (学校評価アンケートによる)	目標値 %	87	90	93	95	95
②	本制度による転入学児童数	目標値 人	0	0	10	15	20

【予算・決算】

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	合計
事業費					968	968	1,936
国庫支出金							0
県支出金							0
地方債							0
その他					968	968	1,936
一般財源							0
人件費							0
職員							0.00人
時間外勤務							0h
嘱託員							0.00人
フルコスト	0	0	0	0	968	968	1,936

妥当性 (市の関与)	学校教育に係る制度の推進であるため、市が実施主体となることは妥当である。
有効性 (施策貢献度)	当該地域の活性化につながるものあり、施策の推進に大きく貢献するものである。
効率性 (コスト)	英会話教室の講師は、市雇用のALT（外国語指導助手）等を活用することで、必要最低限の経費に抑える。

1次評価	担当者意見のとおり
2次評価	1次評価意見のとおり